



2026年1月29日

各位

会社名 株式会社三機サービス
代表者名 代表取締役社長 北越 達男
(コード番号 6044、東証スタンダード)
問合せ先 専務取締役
経営管理本部長 川崎 理
(TEL079-289-4411)

一般照明用の蛍光灯の製造、輸出入終了（2026年1月から段階的に規制され2027年末までに終了）に伴う、LED切替需要増に対応する人員及び組織体制を構築
～LEDへの計画的な切替及び空調設備など施設全体の省エネ化を提案～

業務用空調設備のメンテナンス、入替工事などを全国展開する株式会社三機サービス（本社：兵庫県姫路市、代表取締役社長：北越達男、以下「当社」）は、一般の住宅や病院、商業施設などの建物において使用される蛍光灯（一般照明用）の製造、輸出入が2027年末までに終了することに伴う、LEDへの切替需要増やそれを契機とする空調設備などの省エネ化需要増に対応するための人員及び組織体制の構築に取り組みます。

2027年末までに、一般照明用の蛍光灯の製造・輸出入が終了します。

水俣条約締約国会議の決定を受け、
水銀使用製品である蛍光灯は2026年1月より順次、製造と輸出入が規制されます。
そのため、今後は、計画的にLED照明への切り替えをお願いいたします。
なお、規制開始後も、蛍光灯の継続使用、在庫の売買及びその使用は可能です。

**1 蛍光灯は2027年末までに
製造・輸出入が禁止**

直管形 環形 電球形 コンパクト形

■ 様々な規制時期の詳細は[こちら](#) (PDF形式: 96KB)

経済産業省 https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/joho/led_shomei/index.html

蛍光灯には水銀が含まれており、人の健康や環境リスクが懸念されることから、水銀を規制する国際条約において、2026年1月より段階的に、蛍光灯の製造、輸出入が規制され、2027年末までには、蛍光灯の製造、輸出入が終了します。製造、輸出入の規制により、LEDの流通量が順次減少することが予想され、LEDへの計画的な切替が推奨されま

す。また、LED は蛍光灯に比べ、電力消費量が少なく、電気代の節約や CO₂排出量を削減できることがわかっています。試算では、蛍光灯シーリングライトを LED シーリングライトに交換した場合、年間約 2,000 円が削減できる見込みとなり※、特に大型病院や商業施設など大型の建物においては電気代の大幅な節約が期待できます。

当社では、LED への切替に加え、空調設備を中心とする業務用機器のメンテナンス、入替工事などに対応しております、大型病院や商業施設などの建物全体の省エネ化提案を強みとしています。事例としては、全国各地の国立病院などで、LED への切替に加え空調設備更新、ポンプ・外調機のインバーター化、空調の EMS (Energy Management System)などを組み合わせた省エネ化を実現しています。

これらの LED への切替需要増やそれを契機とする空調設備などの省エネ化需要増に対応するため人員及び組織体制の構築に取り組みます。具体的には、既存社員への教育研修や新規採用、パートナー企業開拓などを予定しています。

当社は、『空間インフラのもっと快適・ずっと安心を提供すること』をビジョンに掲げ、業務用空調設備のメンテナンスを中心に、設計・施工・保守管理も手掛け、一気通貫なサービスをお客様に提供しております。今後も LED への切替需要増などお客様のニーズに対応する体制を構築し業務拡大を図っていきたいと考えています。

※一般社団法人日本照明工業会

●LED 切替に関するお問い合わせ先
設備・環境ソリューション
<https://www.sanki-s.co.jp/inquiry/>

詳細につきまして、取材をご希望のメディア様は下記までご連絡ください。

株式会社三機サービス 経営企画部 (E-mail : s.keiki@sanki-sv.com)

以上